

条幅規定

師範正 川久保由香里

落筆高く、リズムに乗った思い切りのよい用筆で、文字がお互いに響き合い、作品に躍動感と生命力が溢れる。日頃の優しい作品の中に潜む若きマゲマを感じる力作。精進を。

条幅随意

成家 伊良子喜代

永年仮名で培った線と美しい余白と詩情にあつた程よい墨色が、現代性豊かな「詩文書」に仕上がった。藏鋒・逆筆をもう少し加味すれば線に広がりが増すと思う。今後に期待。

条幅随意(臨書)

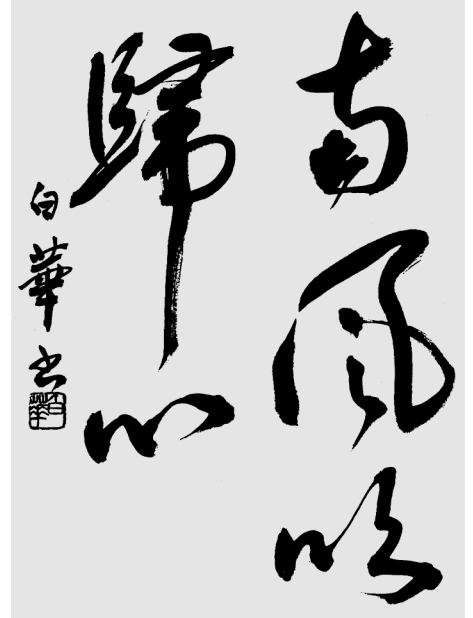
師範正 徳永 仁美

臨書は形臨を主として学習するが、これは、時代性や人間性、また形や性情や内面的要素を考慮し、本人の主観も含つつ、一歩進んだ意臨作品である。高みを目指す挑戦に賛同する。

半折 1/2 横

師範正 黒岩 三溪

手本に捉われることなく草書でこれだけ大胆に表現する腕は流石師範正。作品づくりは日頃の月例での試作勉強が大いに役に立つと思う。これからの書作品に期待する。



半紙規定

師範正 田尻 白華

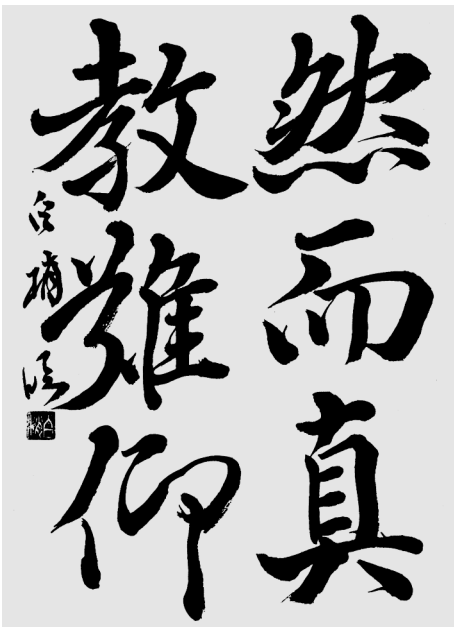
草書作品を無理なく自然に纏めるには、筆順・気脈・大小などすでに頭の中で構築されたものがないと書けない。日々の努力を感じる佳作。



半紙随意

師範 豊嶋 祥波

朝露に濡れた紫陽花を感じさせる青墨の美しい滲みの題字とや、濃いめの本文が花を包む葉のように感じ、感受性豊かな作品である。



半紙随意(臨書)

師範 古瀬 白梢

リズムに乗り、一気呵成に書き進む、自信に満ちた線に魅力を感じる。この線は、書の王道。現代書にも活かし力作を期待する。



学生部条幅 (1/4)

中一 六段 岡本 奈々

気のこもった強い線で、堂々と書いています。今後は行書の流れに重点を置いて練習しましょう。特待生を目指し、がんばってください！

吉村そよか

小一 準3級

はんしいっぱいに、げんきよくかけています。かたちもよくととのつていて、しっかりとれんしゅうのできたさくひんです。

辻本 千夏

小二 初段

日ごろのれんしゅうのせいか作品にあらわれています。のびやかな線で名前までとてもしっかりかけています。

山本 ゆら

小三 4級

き本のふでづかいがしっかりとできた立派な作品です。このちようしでこれからもがんばってください。さたいていしています。

土井 晴佳

小四 初段

「あめかんむり」の三画目は少しおしいのですが、名前まで元気に書いています。今後は、線の太さにも気をつけて、がんばってください。

四年 阿部みなみ

雲

千なつ

きつば

定司 志穂

飛行

三年 ゆら

木

高江りほ

飛行

晴佳

雲

そよか

はま

阿部みなみ 小四 準初段 半紙いっぱい元気に、どうしようと書いています。名前もよく練習のできた作品です。さらに上を目指してがんばってください。

定司 志穂 小五 準六段 気のこもった強い線で形良く書いています。今後は「ハネ」「ハラ」を最後まで丁寧に書くことさらに良くなります。期待大！

高江りほ 小五 準五段 勢いのある伸びやかな線です。バランス良く書いています。「ハネ」をもう少し丁寧に書くこと完成度が上がります。がんばってください！

河野 風紗

小六 準六段

お手本をよく観て、形良く丁寧に書いています。名前もすばらしい。さすが上位有段者の作品です。今後がとて楽しみます。

中平 未夢

中一 六段

初めての「行書」への挑戦だったと思います。伸びやかな線です。元気に書いています。今後は名前も行書に挑戦しましょう。

高橋 来夢

中二 準六段

完成の高い見事な作品です。さすが中学三年生。行書の流れを自分のものとし、伸びやかな線です。とても明るく書いています。

六年 河野 風紗

感謝

中平 未夢

木立

中三 高橋 来夢

若菜

# 硬筆部最優秀作品

(6月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級  
氏名  
きつつきは、する  
とく とが った  
くちばして、きに  
あなを あげます  
しらはたあかり

段級  
氏名  
日本には、ぎまぎまなこ  
まがあります。世界でい  
ちばんしゅるいが多い  
国だといわれています。

段級  
氏名  
多くの人に知られている古典  
の始まりの部分です。言葉の  
ひびきリズムを味わったり  
様子を想像したりしながら、  
声に出して読みましょう。

段級  
氏名  
足元で河鹿が鳴いている。腰を下  
ろしている。石の陰にでもいるのだ  
ろうが、張りのあるいい声。川に  
漬けたゴム長のふくらはぎを伝  
て、膝の裏をくすぐっている。

段級  
氏名  
ミニトマトのみに  
かおを近づけたら  
赤いトマトと同じ  
においがしました。  
平川いろ花

段級  
氏名  
自分にとって最高のもの  
を実現するために、「ま  
ず動くぞして考える」こ  
とが大切だと思えます。

段級  
氏名  
こよみのうえでは、立夏から立  
秋の前日までを「夏」といいます。  
夏から秋へと向かっていくこの  
ころの季節の様子は、どんな言  
葉で表されているでしょう。  
六年 河内珠希

段級  
氏名  
不衛生な環境で感染症にかかって七  
くち子は多い。日本ユニセフ協会に  
よれば、石けんを手洗できれば、世界  
7年に約百万人の命が守られら  
う。それで、世界で、容易でない。  
い、それで、世界で、容易でない。

段級  
氏名  
日本には、ぎまぎまなこ  
まがあります。世界でい  
ちばんしゅるいが多い  
国だといわれています。

段級  
氏名  
自分にとって最高のもの  
を実現するために、「ま  
ず動くぞして考える」こ  
とが大切だと思えます。

段級  
氏名  
足元で河鹿が鳴いている。腰を下  
ろしている。石の陰にでもいるのだ  
ろうが、張りのあるいい声。川に  
漬けたゴム長のふくらはぎを伝  
て、膝の裏をくすぐっている。

段級  
氏名  
擇倍暑い夏が近づいてきいり、また、  
皆様におかれましては、お元気でお過  
のこす存じます。  
さて、この度の、数時間、にアフリカを回  
り探りためた写真を集めて、写真展を  
開くことになりました。皆様にご覧いた  
きたく、勝手ながら案内状を同封させて  
いたさいます。  
会場でお会い出来るのを楽しみにし  
ております。  
わーい

## 書譜

しらはたあかり  
小一 8級  
一じり力づよ  
いせんで、げん  
きよくかけてい  
ます。いっしょ  
うけんめいにれ  
んしゅうのでき  
たりつばななく  
ひんです。

平川 彩花  
小二 準5級  
マスいっばいに  
元氣よく書いて  
います。むずか  
しいかん字もよ  
く練習ができて  
います。このち  
ようしでがんば  
ってください。

中山 琴音  
小三 初段  
明るくすつきり  
とした線で伸び  
やかに書いてい  
ます。ペンの使  
い方もとても上  
手です。さらに  
上の段を目指し  
てがんばってね

梅田 紗和  
小三 2級  
お手本をよく見  
て一字一字とい  
ねいに、そして  
元氣よく書いて  
います。名前も  
とてもじょうず  
です。日ごろの練  
習の成果ですね。

前田 結衣  
小四 準三級  
漢字と平仮名の  
バランスがよく  
名前まで集中力  
を切らず、と  
ても丁寧に書  
けています。完  
成度の高いすば  
らしい作品です。

大村 ゆき  
小四 準1級  
ペンを上手に使  
って、書き初め  
から名前まで集  
中し、丁寧に  
書いています。今  
後は、ペンの持  
ち方や姿勢に気  
をつけましょう。

宮本 桐葉  
小五 二段  
芯のある強い線  
に魅力を感じる  
作品です。今後  
は、鉛筆の持ち  
方や姿勢に気を  
つけると、右払  
いが書きやすく  
なると思います。

河内 珠希  
小六 準六級  
さすがに上位有段  
者の作品です。  
完成度が高く大  
人顔負けの作  
品です。今後は  
長い点に気を  
つけると、さら  
に良くなります。

友成 天音  
中学 特待生  
お手本と見間違  
うほどすばらし  
い作品です。さ  
すが、特待生で  
すね。今後は一  
般部へも挑戦し  
てください。期  
待しています。

真鍋 莉々  
中学 準六段  
明るく澄んだ線  
がとても魅力的  
です。全体のバラ  
ンスも良く、完  
成度の高い見事  
な作品。この調  
子で、特待生を  
目指して下さい。

阪井 浩子  
一般 師範正  
無理のないペン  
捌きが自然で、  
安定感のある明  
るい作品です。  
日頃からの積み  
重ねの賜だと思  
います。継続は  
力なりですね。

松永 里美  
一般 師範  
自己のリズムで  
伸びやかに書か  
れている点に好  
感を持てる作品  
です。今後は抑  
揚の変化を加味  
し、立体感ある  
作品を。